

令和8年度 大会内容の変更について（連絡）

令和8（2026）年度から内容が変更となる大会がありますので、御確認ください。

●大会名：全日本高校選手権大会予選

- これまでの夏季大会・全日本選手権一次予選・代表決定戦を合わせて一連の大会とし、当部に加盟する全ての選手が「春の高校バレー」を目指す大会と位置付ける。
- 日程は、8月二日間の試合を第1ラウンド、9月の試合を第2ラウンド、10月の試合を第3ラウンド、11月の試合を代表決定戦とし、5日間で実施する。
- 全ての加盟校に出場資格があり、3年生も出場が可能である。
- 総体予選ベスト16のチームをシードとし、ベスト32の16チームを準シードとする。
9位・13位シードは第2ラウンドから、ベスト8は第3ラウンドからの出場となる。
なお、今大会の結果は、新人選手権大会のシードに反映させる。
- 会場：熱中症対策として、これまで通り空調のある会場を確保して実施する。
- ボール：総体予選に準じたボールを使用する。（切り替えは新人選手権大会とする。）
- 参加費：大会参加初日に7,500円を支払う。（東京都代表決定戦は別途参加費が必要となる。）

●全日本高校選手権大会予選のレギュレーションについて

- 4つのブロックに分けて行い、上位4チームを決定する。（東京都代表決定戦に出場）
- 総体予選ベスト32の16チームを振り分ける。（第1ラウンドから出場）
- 総体予選ベスト16のチームをシードとする。
なお、9~13位は第2ラウンドから出場、ベスト8は第3ラウンドから出場とする。
- 熱中症特別警戒アラート等で中止となった場合、シードや試合の取り扱いは以下のとおりとする。
①第1ラウンド前に中止→第3ラウンド（総体予選ベスト16以上出場）から実施する。
※総体予選ベスト32の16チームを新人選手権の17位シードに入れる。
②第1ラウンド途中（1日目終了後）に中止（第2ラウンド前の中止含む）
→第3ラウンド（総体予選ベスト16以上出場）から実施する。
※それまでの結果を有効とする。（ベスト32が敗退した場合、新人選手権ではその部分を空位とする。）

●全日本高校選手権大会予選のレギュレーションについて（イメージ）

